



西会津小だより

3月号

No.24

【教育目標】

心身ともにたくましく、
未来を生き抜く児童
令和4年 2月28日(月)
文責：校長 博多弘泰

ZOOMを活用したオンライン授業の準備

新型コロナウイルス感染症拡大防止等により登校できない場合を想定し、「ZOOMを活用したオンライン授業」の準備を1学年でも実施しました。担任とICT支援員のTTで、アプリの起動やID・パスワードの入力操作について、子どもたち一人一人にきめ細やかな指導をすることで、タブレット端末画面を通して先生や友だちの顔を見合ったり声を聞き合ったりなど、全員がオンラインでつながることができました。子どもたちは、即時につながること、安心感を持てたようでした。まん延防止等重点措置が延期され、また、新型コロナウイルス感染の収束時期等についても見通せない状況が続いている中、休校や学級・学年閉鎖になった場合には、「学びの歩み」を止めないためにも「ZOOMを活用したオンライン授業」の必要性が高まってくると思います。万が一に備え、スムーズな取組ができるように、今後も各学年で準備を進めてまいります。



いわき交流(オンライン)

コロナ禍のため、昨年度・今年度と夏期・冬期「いわき交流」が実施できませんでしたでしたが、2月7日(月)に、オンラインで交流を行いました。互いの学校や学級の様子についての紹介・クイズやゲーム等を行いました。初めてのオンラインによる交流でしたが、子どもたちは自分たちでどんな交流にしたいか、そのためにどんな準備が必要か、役割は・などを考え、本番を迎えました。海の近くの学校(豊間小)と雪がたくさん降る山の近くの学校(西会津小)の互いの地域・文化を理解したり、自分たちの学校や地域のよさを再認識したりすることができた交流になりました。次年度以降についても、互いに行き来し、宿泊を通しての交流は難しいと考えます。「いわき交流」は、始まったきっかけやこれまでの経緯があり、町当局やこれまで携わっていただいた方々にも相談させていただき、今後はオンラインで交流を継続することに決定させていただきました。



鼓笛隊移杖式

本校、第10代の6年生が、第11代の5年生へと指揮杖と楽器の受け渡しを行う、「鼓笛隊移杖式」が2月25日(金)に西中体育館で行われました。当日を迎えるまで鍵盤ハーモニカを担当する3・4年生は、合同で練習を重ねたことでもみるみるメロディーが合うようになりました。また、5年生は、昼休み返上で自らの意思・判断で練習に取り組んできました。限られた時間の中で、パート練習をしたり、いくつかのパートで集まって練習したりと、鼓笛隊の伝統をしっかりと引き継ごうとする姿が見られました。6年生にとっては、最後の演奏であり、心をついにし、心のこもった演奏を披露しました。



学校のリーダー

5年生が企画・運営の中心を担う「6年生感謝の会」が、鼓笛隊移杖式後に行われました。毎年、5年生は、この会を機会に大きな意識の変容(学校のリーダーとしての自覚)が見られます。それは、次年度に最高学年として担うこととなる責任や役割の重さを実感する貴重な体験をし、また、成功できたという自信が満足感や自己有用感を生み、今後の活動意欲が喚起されるからです。5年生には、目的達成に向け、助け合い、協力し合いながら取り組む中で、学校のリーダーとしての基盤となる資質や能力が育まれたと思います。



3月の行事予定

4日(金)授業参観(オンライン)、
学年懇談会(各学年教室)
PTA専門委員会(各学年教室)
8日(火)短縮5校時

10日(木)短縮5校時
11日(金)短縮4校時(給食なし)
17日(木)卒業式予行
18日(金)環境美化活動
22日(火)修了式
23日(水)卒業証書授与式
28日(月)離任式・教室移動

